

鳴海周平の

ぶらり旅

スペイン・ポルトガル編

2014年12月28日。

道東、台湾での祈りの旅をご一緒した滝沢泰平さんと、またどこかへ出かけている夢を見ました。国内か海外かはわかりませんが、時期は2015年5月。ここまではっきり日程が絞り込まれるのは珍しいことなので、さっそく泰平さんに連絡してみました。

「おお☆5月!? 国内か海外か楽しみですね(=是非どこでも行きます!)」
(Facebookメッセージ原文のまま)

さすが、魂友は話が早い(笑)。
さっそくその辺りのスケジュールを確認してみると、モンドセレクションの授賞式でポルトガルへ行く予定が入っていました。

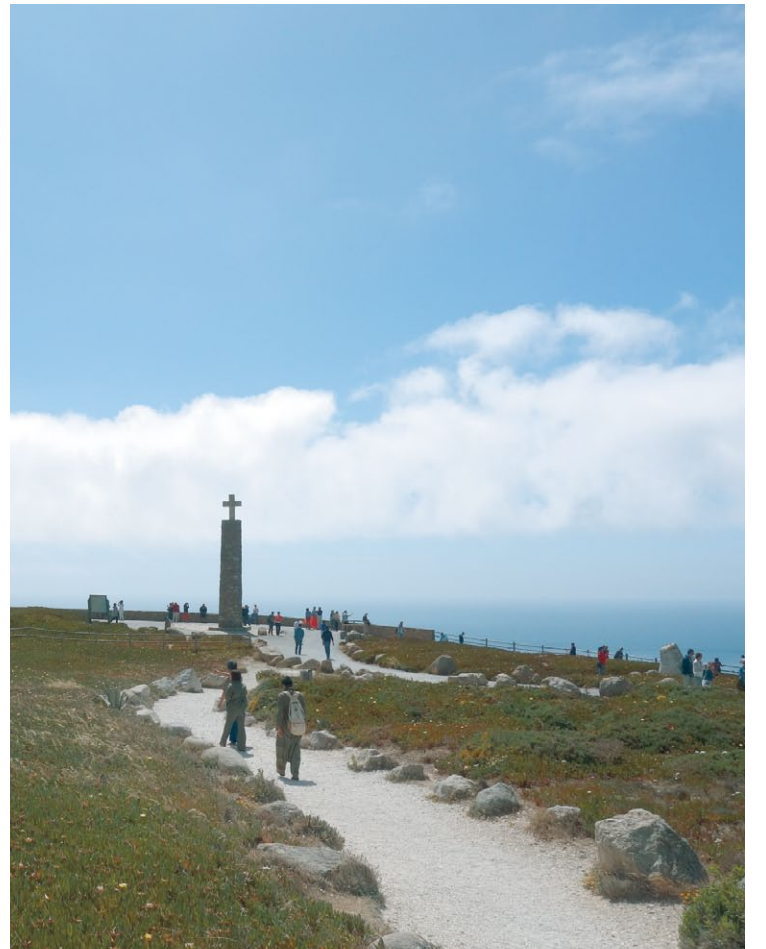
「えっ、ポルトガルですか!? しつは、凄く気になっている所なんですよ」

じゃあ、行きましょう!! ということで、いつものように、流れにお任せの「祈りの旅」が始まったのです。

ポルトガルの港町ナザレ。8世紀にロマンという僧が、イスラエルのナザレからマリア像を運んで来たことに由来する地名とも云われています。



左と下の写真は、ともにロカ岬。かつてアトランティス大陸があったとされています。



祈りの旅は「なんとなく、しつくりくる」「腑に落ちる」という感覚で計画します。場所や日程、メンバーなどの要件が、パズルのようにはまっていくな感じます。

そして、どうやらこのパズルのパーツは、既に決められているものらしく、必ず「落ち着くところに落ち着く」ようになっていくのです。

「じつは、隣のスペインも気になってるんですよ」

どちらからともなく、スペイン（ポルトガルという旅程が示されました。もともと予定していた、ポルトガル・リスボンでのモンドセレクション授賞式は6月1日。夢で見た「5月のお祈り」とタイミングもぴったりです。

ここで、お互いに共通の友人である長典男さん、高麗加緒里さん、御二方の顔が浮かびました。ご多様な方々なのですが、ちょうどこのタイミングならOKとのこと。

過去生において、異なる派の「陰陽師」だったという、長さんと加緒里さんと私。

泰平さんという「皇子」に束ねられ（笑）、「融合・統合・調和」のひな形そのものを演じる旅でもあるようです。

今回の旅で捧げる祈りには、3つの想いがありました。

- ① 隕石落下地点における祈り
- ② 残留思念を癒す祈り
- ③ 「融合・統合・調和」のひな形と成る祈り

① 隕石落下地点における祈り
「ロカ岬の先は大西洋の大海原が広がり、その1500kmほど先には、伝説の古代文明アトランティスの跡地と思われるアゾレス諸島があります。

太古の昔、この大西洋の海に彗星が落下してアトランティス大陸は海の底へ沈み、現在スペイン・ポルトガルのあるイベリア半島全体も大津波に飲み込まれたと言われています。

そして、北緯で裏側にある日本列島に彗星落下の衝撃波が伝わり、地表を吹き飛ばして生まれたのが淡路島と琵琶湖。

今回のポルトガル方面の1つの目的は、この彗星落下地点の近くまでいき、最後を迎えたアトランティスの人々への鎮魂の祈りと、これから先も琵琶湖が平穏であることを願ってのお祈りでした。」
(滝沢泰平さん「天下泰平」ブログより)



サグラダ・ファミリアとゲル公園。どちらもガウディの作品です。



サグラダ・ファミリアの塔内にて。



スペイン名物のバエリアとポルトガル名物のエッグタルト。エッグタルトは、毎日3個以上のノルマがありました(笑)。果物も美味!!



なるほど、泰平さんがポルトガルを「凄く気に入っている所」と言っていた理由がよくわかります。ユーラシア大陸の西の果て、ロカ岬での祈りは、こうした想いを込めて行なわれたのでした。



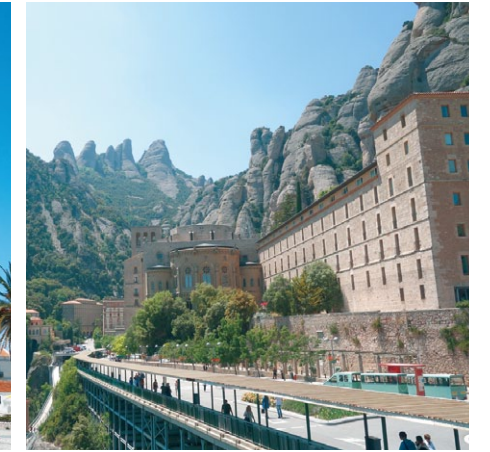
ジブラルタル・ヘラクレスの柱。地中海の要衝に位置するイギリス領です。



ナザレ



モンセラット



モンセラット～バルセロナ～サラゴサ～マドリッド～トレド～コルドバ～ジブラルタル～リスボン～ファティマ～ナザレ。今回の旅のルートには、必ずマリア伝説が残されていました。かつて、マリア様が辿った軌跡を巡る旅でもあったようです。



トレド



コルドバ



コラボ講演会全国ツアーも、このメンバーでまわります。

この地での祈りも、どうやら然るべきエネルギーゾーンへと想いを届けることができたようです。

遠くから望んだ時にみえた大きな結果のような十字架も、近づくにつれてその存在感を徐々に透明なものへと変え、きれいな八芒星となりました。

私たち4人を温かく迎え入れてくれました。

③「融合・統合・調和」のひな形と成る祈り

イベリア半島最南端・ジブラルタルにある「ヘラクレスの柱」と呼ばれる岩山。ギリシア神話に登場する半神半人の英雄ヘラクレスが、近道を作るために岩山を砕き、ジブラルタル海峡と、この柱が生まれた、という言い伝えからついた名前のようなようです。

さまざまなエネルギーの要所でもあるこの場所での祈りは、陰と陽、光と陰、Xと十など、すべてのものが、新しい時代へ向けて「融合・統合・調和」の方向へと進んでいくためのものでした。

② 残留思念を癒す祈り

泰平さんが「氣になっっている所」と言った理由がもう一つ。

それは、どうやら今回の旅のルートがマリア様の辿った道であり、その軌跡に残されたイエス・キリストへの深い愛情が、ある種のエネルギー(想念帯)となって留まっているのではないか、ということでした。

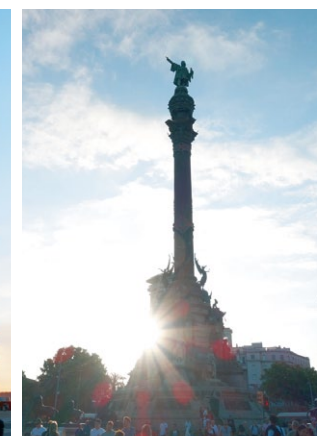
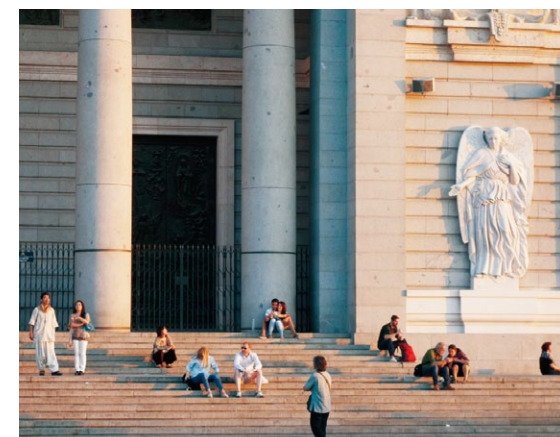
祈りには「癒し」の力があります。私たちの想い(意)を乗せた「意乗」祈りが、そうした想念帯を癒す何らかの一助となることのできたら…。この旅には、そんな想いも込められていたのです。

時空を超えた祈りの中で現れたビジョンは、とてもきれいな八芒星「米」でした。

マリア様の軌跡を辿るこの旅のいたるところで現れた「X」のマーク。この「X」がマリア様のエネルギーを示しているのだとしたら、八芒星は、「十(十字架)」が示すイエス・キリストのエネルギーとの「融合・統合・調和」が、無事行なわれたことのサインだったのかもしれない。

かつて異なる派の陰陽師として対立関係に合った、長さんと加緒里さんと私が、泰平さんと共に「新しい時代」への想いを一つにしなが、こうして旅を続けていることも「融合・統合・調和」のひな形と成っているのかもしれない。

2014年12月28日の夢で見た「5月におこなう祈りの旅」は、こうして無事完了したのでした。



スペインの王宮前広場とコロンブスの塔にて。いずれも21時過ぎの写真です。ヨーロッパの夏は日長い!!



「天下泰平」ブログ

「事実は小説より奇なり」を地ていくエピソードが満載の「スペイン・ポルトガル祈りの旅」は、滝沢泰平さんの「天下泰平」ブログ、鳴海周平オフィシャルサイト「魂の紀行」ブログでも紹介されています。

<http://tenkaihei.xxxblog.jp/archives/51915637.html>
<http://tenkaihei.xxxblog.jp/archives/51916432.html>



「魂の紀行」ブログ

全国で講演会開催中!!

<http://narumi-shuhei.com/blog/>
 (8月現在は2014年・道東編をアップ中です)

今回の「祈りの旅」メンバーの4人で、旅の報告を兼ねた講演会を全国で開催中です。開催スケジュールは、やつはさん、エヌ・ピュアのホームページからご確認ください。

やつは株式会社 <http://www.yatsuha.com/>
 株式会社エヌ・ピュア <http://npure.co.jp/>

